

次 第

【記念式典】 **会場** 明治記念館 蓬莱の間 **開場** 13:30 **開始** 14:00 **終了** 17:00
司会：白銀 隆之 理事（総務企画）

- I 開会の辞** 塩原 亮一 副会長（総務企画）
- II 会長挨拶** 日高 邦彦 会長
- III 来賓祝辞** 内閣総理大臣 安倍 晋三 様
文部科学大臣 下村 博文 様
経済産業大臣 茂木 敏充 様
日本学術会議 会長 大西 隆 様
- IV 海外招待者祝辞** Prof. Liang Xidong (Executive council member of CSEE)
津田 俊隆 様 (IEEE：東京支部Chair)
- V 永年在会会員の表彰** 代表挨拶 岡村 總吾 様（東京電機大学 名誉学長）
- VI 電気学会125年の歩み**（ビデオでの紹介）

— 休憩 —

- VII 特別講演 (1) 「エクサビット情報社会の実現に向けた光通信技術の新たな挑戦」**
中沢 正隆 様（東北大学 電気通信研究機構 専任 教授）
- 特別講演 (2) 「わかりやすい伝え方」**
池上 彰 様（東京工業大学 リベラルアーツセンター 教授 / ジャーナリスト）

- VIII 閉会の辞** 栗原 郁夫 副会長（研究調査）

【祝賀会】 **会場** 明治記念館 富士の間 **開場** 17:00 **開始** 17:30 **終了** 19:00
司会：竹内 昭 副会長（財務会計）

- I 開会の辞** 生駒 昌夫 会長代理
- II お祝いの言葉
祝電披露** 日本工学会 会長 柘植 綾夫 様
電気事業連合会 会長 八木 誠 様
東京大学 名誉教授 関根 泰次 様
(株)東芝 常任顧問 田井 一郎 様

- III 乾杯** 宮地 巖 様（愛知工業大学 客員教授）

— 歓談 —

- IV 閉会の辞** 中川 聡子 副会長（編集出版）



一般社団法人 電気学会
<http://www.iee.or.jp/>

一般社団法人 電気学会 創立125周年

記念式典 祝賀会

ごあいさつ



1888年創立の電気学会、それを主導した志田林三郎博士による最初の演説では、「電気学会が我が国の世運を高め、人々の生活を幸福にするうえで不可欠の存在となることを熱望するものである」と締め括っています。この思いに応えるべく、電気学会は一貫して、電気学術の研究・調査とその成果の発表を通じ、技術の振興や幸福な社会の実現に向けて貢献をし、電気が水や空気と同じように不可欠な存在となる時代を作りつつあります。ここに創立125周年を迎えますことは、何よりの喜びです。

創立100周年以降の25年間を見ますと、バブルの崩壊や不安定な国際情勢、そして一昨年の東日本大震災を経験したなか、電気学会は持続可能な社会の構築に向けた技術の開発と実用化、技術に対する信頼の再構築に取り組んできました。具体的な取り組みを技術キーワードで拾ってみても、ナノ材料、地球環境問題、UHV送電、超電導ケーブル、国際標準、スマートグリッド、再生可能エネルギー、クラウドコンピューティング、リニアドライブ、電気自動車、マイクロマシン、医療・介護ロボットなど、社会の要請に応える広範なものになっています。

創立125周年にあたり、「創立125周年史」および「電気工学ハンドブック 第7版」を出版し、また本日、記念式典・祝賀会を開催するに至っています。本事業への募金にご賛同頂いた皆様、また本事業委員会の塩原亮一委員長を始めご尽力頂いた皆様に対し、ここに心から御礼申し上げます。

結びとして、電気学会が今後とも幸福な社会の実現に不可欠な存在であり続けることを改めて誓いたいと考えます。

2013年10月11日

一般社団法人 電気学会 会長 日高 邦彦



電気学会は1888年（明治21年）に創立され、それから今日まで電気技術の進歩・発展を支え、その成果によりわが国の電力事業の信頼性が世界トップレベルを維持しているといっても過言ではありません。さらに電気の利用は電力事業にとどまらず、エレクトロニクス、情報、通信の分野においても電気利用の多様性・高度化が進み、電気学会が担う役割は益々重要なものになってきております。

そうしたなか2011年3月11日の東日本大震災を経験し、電力システムの信頼性に関する課題が露呈することになりました。このため、原子力も含めた電源のベストミックスの再検討や風力や太陽光などの再生可能エネルギーの導入拡大、スマートグリッド（次世代送電網）の実用化などが早急に必要になりました。そして我々子孫に住み良い地球を残すためにも地球の温暖化や世界規模のエネルギー活用などに目を向けた活動をする時期にきております。

この様に電気学会は、他学会と協力しながら海外会員を含め会員一丸となって課題解決に向けた活動を通して社会的責任を果たすことが期待されています。

このたび、電気学会創立125周年記念にあたり、これまでの電気学会の歩み、諸先輩が築かれた数々の業績を讃えと共に、社会の持続的発展に電気学会が貢献するため、引き続き皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

2013年10月11日

電気学会創立125周年記念事業委員会 委員長 塩原 亮一